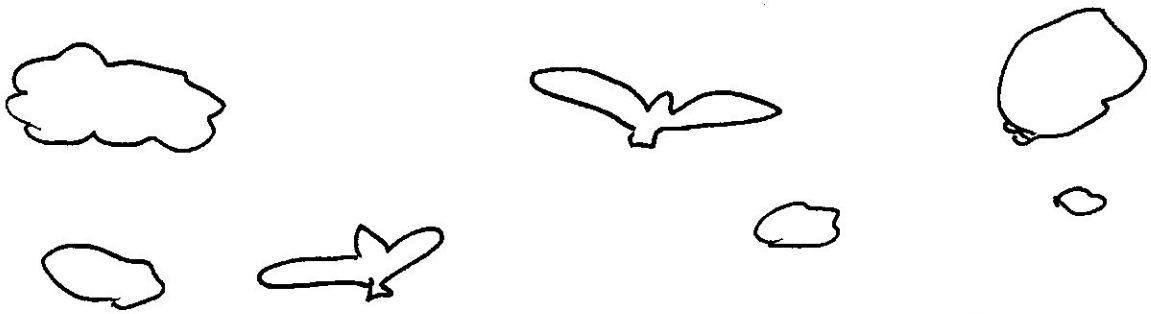
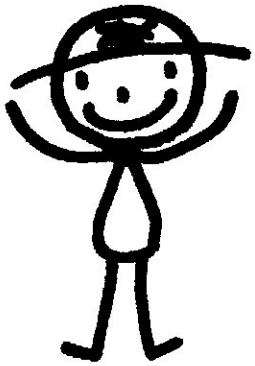
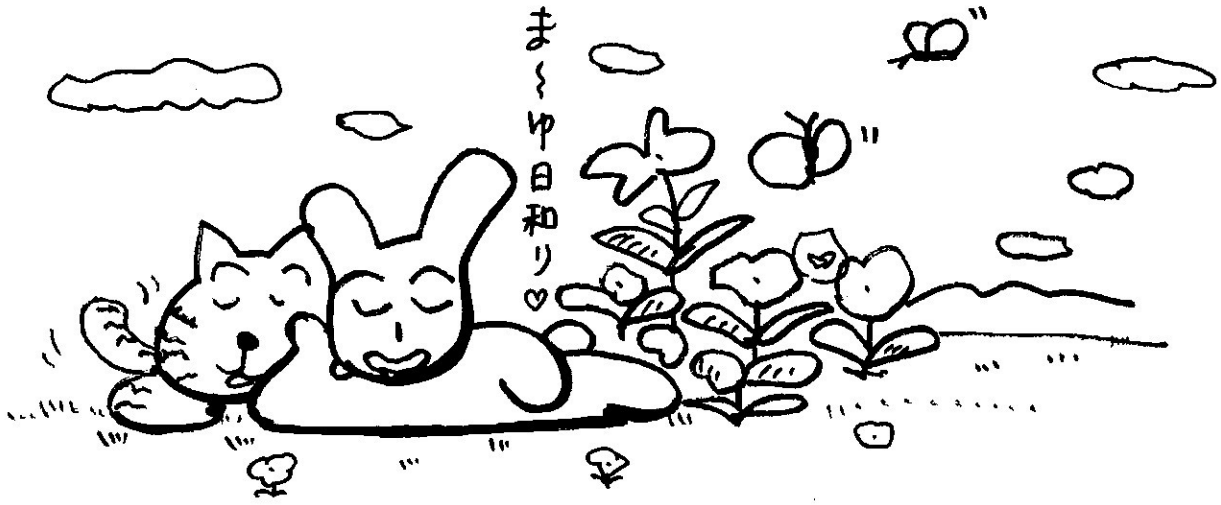


上田地域もの・こと交換制度

蚕都くらぶ
ま~ゆ



蚕都くらぶま~ゆ会報 **No.4** 2002年3月10日発行



ま~ゆ連絡先　代表　安井啓子
〒386-0001 上田市上田2574-16
TEL&fax　27-3186
メール　info@uedasi.Com
ま~ゆホームページ　http://www.uedasi.com/m/

ま～ゆへの想い

ごんべいこと中島邦夫

昨年11月3日にスタートした“蚕都くらぶまーゆ〞もまもなく四ヶ月になろうとしています。この間毎月10日に4回のま～ゆ市が開かれ、そのつど40人を超える会員が参加し、ものや情報の交換を通し心の交流を育んできました。今、何より嬉しいのは多くの仲間が「何かの役に立てないか?」「何か自分の出来る事はないのか?」と積極的に自分探しに参加して、取引する事を通して自らの潜在力を再発見しつつある事です。そしてそれを交換し合う満足と信頼が醸し出すなんともいえない温かさが「何かが違う」「また来よう！」「新しい仲間を誘おう!」と次々と繋がり広がっていく事です。まるで繭が増殖していくように…。

ま～ゆは私自身にとっても自分探しの旅で出会った「これだ！」だったのです。

25年勤めたサラリーマン生活を辞めて故郷の上田に帰って来てからもう8年近くが過ぎました。当時、私は何かモヤモヤした気持ちの中で思い悩んでいました。終戦の年に生まれ世の中の流れと同じ様にただひたすら「豊かになろう」「周りに遅れまい」と走り続けて来ました。お金や物や地位は自分を満足させてくれました。しかし、40歳を過ぎだ頃から心の空虚さは年々広がっていきました。

「これが自分の求めていた豊かさだったのだろうか?」「こんな事をしていて自分はいいのだろうか?」と。それまで自分自身のことや世の中の事を真剣に考えてみた事もなかった私が、初めて遅い、実に遅い自我に目覚めたときでした。

それから私の自分探しの旅が始まったのです。

貪るように本を読んだり、ただひたすら歩き回ったりしました。あるときは玉川上水を西へ西へと歩き続け、陽が暮れてへとへとになって電車で帰ってきたこともありました。

生きるとは?死とは?と真面目に考えました。そして死に方は選べないけれど生き方は選べるんだと思い至ったのです。すると、世の中の景色が変わってきました。

それは世の中が変わったのではなく・自分の見方〔価値観の基準〕が変わったことにより・今までとは違って見えてきたのでしょう。

そんな中で昨年「エンデの遺言」と出会ったのです。ショックでした。

「これだ！自分の求めていたのはこれだったんだ!」と…。自分の出来る事から始めようと、それまでなんとなく後ろめたさを感じながら乗っていた3ナンバーのディーゼル車を手放し、知人に貰ったポンコツ軽自動車に乗り換えました。「車はステイタスを表わさ無い」と粋がっています。

今や、ま～ゆは私の心の拠り所としてのベースになっています。ここに帰って来て心を癒し、また出かけて行くのです。

“全ての人々はま～ゆに抱かれて、みな兄弟となるのだ„（シラーの「歓喜によせて」の冒頭の一節の盗作です）

のび太さんの「ま～ゆ・ほのぼのお助けメモ」

のび太さん(会員 7 番)自転車大好き・さわやか系若作り・ま～ゆ歴 4 ヶ月・交換数10回・収支マイナス 1770 ま～ゆ・「こちらの通帳にはこう書くんダッケ?」等とやり取りするときのぎこちなさがイイと思っている人です。

ま～ゆお助けその 1　古いワープロデータが生き返った！

今年から地区の公民館役員を仰せつかり、引継ぎで預かったワープロとフロッピーディスク数枚。普段パソコンでの文章入力は慣れているつもりなのだが、公民館のワープロはどう見ても一昔前の型。案の定、操作に四苦八苦でちっとも作業がはかどらない。

このフロッピーが自分のパソコンで使えるようになる方法があれば楽なのになあと思い、思い切ってま～ゆのメーリングリストに「お助け願い」の投稿をすると、さっそくmccさん(会員 57 番)から連絡をいただいた。何度かメールでやり取りした後、ワープロごと持ってmccさんの仕事先におじゃま、大変お忙しい中にもかかわらず、親切に対応していただいた。

mccさんの見立てではワープロ本体にフロッピーの変換機能が付いているとか、実際にご自分のフロッピーに元文書のフロッピーからのコピーの仕方を実践。「これで大丈夫だと思います、もしダメだったら次の方法を考えましょう」と、大変心強い言葉をいただいた。

早速自宅のパソコンに恐る恐るフロッピーを入れ立ち上げてみると、ナント！見事に画面にデータが現れた。こういう瞬間って結構感激もの！
喜んで次々とコピーしまくり、公民館の資料作りはお陰さまで大変はかどっています。
この件については他にイジコさんとひらりんさんからも連絡いただきました。
皆さんありがとうございました。

えっ！まだ書いていいの？では次にお助けドタバタ劇を。

ま～ゆお助けその 2　一輪車の輪は友達の輪だった！

真田町のトットさんから一輪車パンク修理依頼が来る「いつでも良いですよ」と言って頂いたので、タイヤだけ持ち帰ろうと菅平のスキー帰りに寄らせていただくことになった。ところが我が家の一輪車に合わせて「これがあればOK」とスパナを一本だけ持っていったのがアダになるとは…。家族を真田温泉に降ろし、トットさん宅に向かう。約束時間よりだいぶ早かったのでお留守だったのだが玄関先にパンクの一輪車が置いてあったのでタイヤを外そうとして…ｱﾘｬﾘｬ！な、なんと工具が合わないのだ！　　しばしボー然。
このままMさんの帰宅を待って「工具貸して下さい」ってのもカッコ悪いなあと思い(初対面だから)、気を取り直していったん真田温泉に戻り、近くに住む友人宅に電話すると幸いにも在宅中。事情を話したところその友人は仰々しくも、ラチェットレンチ一式を持ってすぐ駆けつけてくれて、めでたく一件落着。

後日、タイヤのパンクを修理して伺ったトットさん宅での世間話で、なんとラチェットレンチを貸してくれたあの友人はトットさんの知人と判明。世間の狭さを痛感。これも「ま～ゆ」が取り持つ繋がりなのかな、とも思ったのだ。
こんど工具の友人にも「ま～ゆ」を呼びかけてみようと思う。ま～ゆのことを知らない彼は「どうしてのび太がトットさんの一輪車をわざわざ修理するのかな?」と、いまだに謎のままなのだろう。きっと。

★トットちゃんのま～ゆ便り★

● トットちゃん
会員番号71番

私は蚕都くらぶま～ゆに入れていただいて間もないのですが、こんなに活用させて頂いていますよ。

✲ 1月 20 日(日)

一輪車がパンクしてしまい、早速のび太さんに直していただきました。のび太さん、真田までご苦労様でした。
（例の一輪車の輪の件ですね）

✲ 1月 21 日(月)

今年はどうしてもパソコンを覚えたくて都々平さんに教えていただいています。これまた都々平さんのことパソコン教室より親切、丁寧なんです。私ひとりではもったいないので、どなたか一緒に習いませんか？ 都々平さん、奥様手作りの漬物でのお茶、とても美味しかったです。

✲ 2月 24 日(日)

安井さんのお声かけで、ま～ゆのまち子さんのご主人のロマンあふれる農業への思いをお聞きして、とても感動しました。安井さん、もしかしてこれはま～ゆではないのね…。
（そうです、これはトーキングプラザ 21 が主催した元気な農業をテーマにしたシンポジウムです。これからもよろしく）

ともあれナント素晴らしい蚕都くらぶなんでしょう。これからもどんどん皆様の家に電話しますよ。このま～ゆの輪が大きく育ってほしいから。

4コママンガをかいてくれたのは世話人のナマケモノさん。
（会員55番）
ナマケモノさんは手がきの「ま～ゆな人」紹介もつくっていただきました。取材もナマケモノさん。ユニークな視点でたのしい記事をつくってくれました。

♪m□ s uRa～ya♪

かつて私が小学生の頃にヒットした歴史的国民的怪獣映画と言えばもちろん「モスラ」である。

一卵性双生児のザ・ピーナッツが歌い上げる♪～モスラ～よ～♪のなんとも不思議なけだるさ。聞きなれない「一卵性双生児」をあの当時の私は「いちらん製ソーセージ」と勝手に信じていた。その上不思議だったのはどうしてコマドリ姉妹が♪～モスラ～よ～♪と歌わないのかと言う事。あの当時人気は二分していたようだが。振袖姿でモスラをよぶこまどり姉妹も捨てがたいと思った。

会計報告　　2002年2月25日現在〔会計担当　田中記〕

●収入 ①　1000円×13人=　13,000円
②　900円×5人=　4,500円
収入小計　*17,500*円

●支出 ①ま一ゆ会報 第2号制作費
462円　(コピー用紙×2冊) 2001,11.12
②ま一ゆ会報 第3号制作費
150円　(コピー代) 2002.1,10
1669円　(A3コピー用紙) 2002.1.7
1990円　(印刷機使用料) 2002.1.8
1415円　(A3〕ピー用紙) 2002.1.8
512円　(印刷機使用料) 2002.1.23
支出総計　*7,198*円

○収支 支出合計　*19,832*円
残金　*72,068*円　(※1,000程コピー用紙が残っています)

○会員が83人になりました。残金は約7万円です。
○支出はま～ゆ会報制作費と案内チラシ制作費に限られています。
印刷機はある商工団体事務所でお借りしています。印刷製本作業は世話人の数名が行っています。
○ま～ゆ世話人会はだいま秋和の熱勝さんで開催しています。会揚提供ありがとうございます。
毎回美味しいコーヒーを頂いています。ストーブ代として1回に1,000円を支払っています。
○ま一ゆの会報はお近くの常設所で受け取るようにしてください。なるべく郵送料を使用しないように心掛けています。
○会計報告は毎暑載せていきます。質問や提案があればどしどしお寄せください。

ま～ゆな人＆店

ま～ゆには実にさまざまな人々が参加しています。
もしかすると、ま～ゆに参加しなければ知り合う事もなかった人々。一人ひとりが多彩で貴重な経験や知識、技術をお持ちです。
お金には換えられない魅力タップリの「人間の財産」をお持ちの方を「ま～ゆな人」と命名し、ま～ゆの発展のためにドンドン紹介していきます。

～ひらりんの ま～ゆ人スケッチ～

竹田貴一さん(タケちやんま～ゆ会員11番)

竹田さんは、とっても、ひょうきんな方なんです。その、ひょうきんさは、どこへ行っても通用するオールマイティな方。

僕は、2 年前のうえだこどもまつりの時にお会いしてから。

では、ご本人の自己紹介をどうぞ。

はじめまして、タケちゃんこと竹田貴一です。

ある青年との会語

青年「竹田さん、若いですね。おいくつですか?」

タケ「今年、年男なんだよ。」

青年「工一、36 歳ですか。若いですね。」

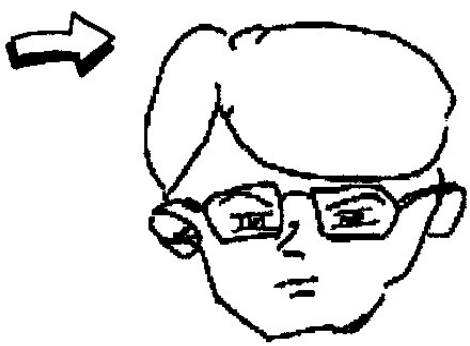
タケ「昭和 29 年の生まれだよ。」

青年「……」

万年青年の竹田です。中之条で幼児教室をやっています。今、あったかい薪ストーブがよく燃えていますよ。お茶でも飲みに来てください。お待ちしております。

あれ？ココでは特に言ってないですけど、将棋も結構なお手前で。ただ、僕は将棋は自分が勝てないとやる気がおきないので手合わせは、ご遠慮の程を。

本人作、「自画像」…



これって若すぎないですか?　　(ひらりん)

スーちゃんこと石原さん(No..81)

あまり、気の進まないところを申し訳ないのですが、仲間になって日が浅いので、ぜひ、みなさんにご紹介したいと思い、無理を言って、お話を寄せていただきました。

まずは、ご紹介と言うことで、スーちゃんのぷろふぃーる。

1, ほびー　　音楽大好き、手芸大好き。
2, 星 座　　かに座
3, 年 齢　　不詳
4, 好きな言葉「継続は力なり」

スーちゃん(ニックネームで書くと新鮮ですが)は、私の教え子です。というと、偉そうですが、私がやってるパソコン講習の受講者なのです。

そこでご本人からご自分の紹介をどうぞ。

最初は、東京にいる娘とメール交換したくて始めたパソコンですが、インターネットはじめ、いろんな事が出来る様になりました。ちなみに現在、ホームページに挑戦しています。

趣味が音楽ということで、最近、ウクレレの稽古を始めました。

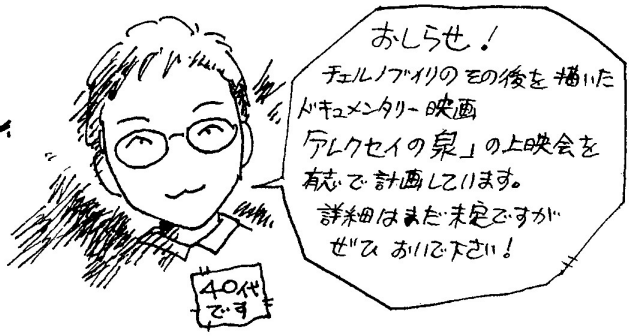
継続は力をモットーに気長にがんばってみようと思っています。

そしていつの日か、音楽好きの仲間とバンドを組んで、あちこち活動が出来たらと夢をふくらませています。

昨年の今頃は、突然病に倒れ入院。家族はじめ大勢の方に迷惑をかけました。

一日の終わりに感謝出来る日々を有難く幸せに思うこの頃です。

家具のみなと
柳原勝彦さん



上田の 中央商店街より もう少し奥まった一角に みなとさんは お店を構えています。

「家具のみなと」といえば 知る人ぞ知る本物志向のスバラしい お品ばかりで、私は よく通りかかるものの 外から「いーなー……」となかめるだけでした。

でも今回は いざ取材を決行！

店内には 整然と、美しい木の家具や アーティストものの インテリアが 並んでおります。

そこは、大量生産、大量消費、価格競争…などで 水ぶくれになった価値感の ガス抜きを 促してくれるような空間です。

そんな お店の スタイルは、そのまま 柳原さんの 思いのようでした。

氏、曰く「600年の 木を切ったからには、600年以上は 生かしてあげたい」

まさに そのとうりと 私も思います。

ですが、今の状況で そんな素材の 家具を手にしようと思う のは ごく一部の人達でしょう。

だからといって、熱帯雨林が 喰い尽くされていくのを 放っておいていい 筈が ありません。

また、利便性重視で 生産されていくモノの中には、シックハウスを はじめ たくさん問題を含んでいます。

可能な事は すぐにでも 変えなければ！という事ばかりです。

約2時間程、取材というより、環境問題等々のお話しをうかがいました。

アトピーで お困りではないですか？

また、眠ったままの 古い家具を 再生させて、センスよく使ってみたいと思いはせんか？

そういった ソフト、サービス面での 情報を本当にたくさん 柳原さんは 持っていらっしゃいます。

買わねばならない というコトは ありませんので「家具直し、飲食店経営、木、家、環境、家具等々…」のこと 相談してみて下さい！

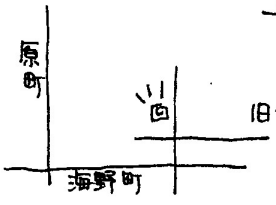
きっと よいめぐり合わせが 待っている…かもしれません。

モノを 大切にしながらも、都会には ない つながりで、モノより 人をみていくと、やさしさ、思いやりとか 心いき のような 失いたくない部分に コンタクトしていける…。

そんな 理想を お持ちの 柳原さん、まーゆに 参加された きっかけは 様々な 活動からの ツテだったそうですが、きっと ごく自然だったのでは？と、感じました。

お店の一角に 木や森や 環境の本が 並んでいたのも 印象的でした。

www.minatoya-kagu.co.jp



上田市 中央6・1・23
Tel. 0268・24・3710
(火)定休
minatonet@ueda.ne.jp

オーガニック焼工房 コナコナ
春原こずえさん

みなとさんが「住」のプロで、こちらのコナコナの春原さんは「食」のプロ。

直接お目にかかる前、まーゆの土ナベパーティに差し入れられた、一見イカスミ？というまっ黒な焼き菓子（後、黒ゴマのトルテと判名）をちょびっと食した私は一言「絶対、このお店に行く！」と、一目ボレならぬ一口ボレ（いやしんぼー！）したのでした。

実は私、自然食大好きなんですが、拝見したリーフレットの内容からしても、真田の地粉を使うなど材料への気の使いよう等々生半可なものではないし、かと言って知識にこだわりすぎて味は…X…なんて事なくとてもおいしいし、「うーん、やるねー！」と、大注目しておったのです。

その後、まーゆ市でご本人にお会いし、こんなかわいらしいお嬢さんが、あのパンを作ってるとは！と驚きました。

というのは、非常に手のかかる天然酵母のパンを作るんとは、いいかげん世の食の異常さにつき当った末に開眼したせいぜい若くても30過ぎの人というイメージがあったからです。

さて、おジャマした焼工房は、ナチュラルな木の空間。

たった独りで全てまかなっていられる（配達まで）ので、量はそれ程多くありませんが、どれも心の込もったものばかりです。

台所なら一日でも立っていられるという彼女は心底、食を作るのがお好きなんですね。

それを如実に語っているのが、天然酵母への取り組み…、

まず小麦と水で起した野性酵母の元ダネに毎日エサ（小麦粉と水）をやります。

水曜日に中ダネを仕込み、1日寝かせ、木曜日に本仕込み……そうして金、土、日に焼く。

そう簡単にはマネできません。

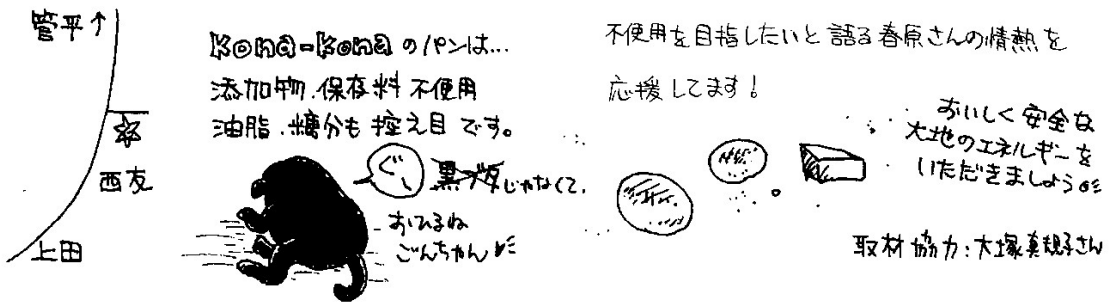
こんな彼女ですから、まーゆに参加されたのも、何となくうなづけます。

不自然なものを無くしていくシンプルライフに興味を持っているからこその共感とおっしゃっていました。

まーゆにどうかかわっていくかはまだ確立してませんが、いい具合、いい距離で…パン、お菓子の作り方、食事などの相談OK！だそうです。

買い物がてら、ぜひどうぞ。

これからも、勉強しながら、ノンシュガー、動物成分不使用を目指したいと語る春原さんの情熱を応援してます！



真田町本原1055　ライフソエヒ内2F
Tel & Fax 0268-61-4110
金・土・日 営業　11～18時

取材協力：大塚美規子さん

毎月10日のま～ゆ市にいらっしゃい!!

ま～ゆ市では…

- 会の運営についての話し合い，おしらせ
- お助けの交渉
- 奇数月に，(お助け一覧表の載ってる)会報の配布
- 会員相互の紹介，交流

～などを行っています。

「これ!」というお助けを発見!
ところが…一覧表だけでは連絡しにくくて…。
でも，直接顔を合わせたら，けっこうスンナリお願いできちゃったー! ラッキー♪

こんなんが居たんだ。という出会いもあるかも…!?

さあ，毎月10日はま～ゆ市へGo!
場所はたいてい上田市中央公民館ですが
事前に時間と詳しい場所をお知らせしています。

お気軽にお来し下さい

一覧表に載らない物の直接持ち込み，ミニフリーマーケットも行われます!
季節の農産物ほか物品，ま～ゆで取り引きしたいもの，お持ち下さい!
(時間と場所が限られる事をご考慮の上，物品は各自でご管理願います)

by ナマケモノさん

羽化

時々、私は概念崩壊シュミレイションを頭の中で楽しむ。例えば、「漂流教室」みたいに未来へと自分が飛ばされたらどうするか…?とか。

まあ、あれはドラマ(マンガ)でフィクションだし原因は外的要因だけれど、自分が外界に投影している(内的要因)権威の類いを無くしていったら凄いことに社会の意味はたぶん消滅してしまうだろう。

エラい人も、エラい企業もお役所も国もなく、たたみんな平等になれる……。

かなり飛躍したことで一笑にふされてしまうかもしれないけれど、もしかしてそれってユートピアじゃーん!なんて…お気付きですか?

このようにして、私達はお金に権威を与えています。

一度想像してみてください。

あれはただの金属と紙切れです。

日本中で一斉に「や～めた!」と言って、皆で決めた価値と権威とルールを放り投げたら…?

まだ今はあくまでも空想の世界のお話。

だけれど、私はお金で計れない自分の価値を取り戻したい。

ま～ゆが流通していくのは、まるでそのまま人が流れて巡っていくようだ。

暖かく力強く血が循環していくのにも似ている。

私達ひとりひとりが細胞のようにネットワークし、ま～ゆ圏というひとつの身体を作り上げる。

そんな新しい仮想現実は共同幻想となり、現実に産み落とされる。

あれはいつだったろう?
欧州のどこかで地域通貨なるものが流通している記事を読み、なんだかとっても素晴らしいものに違いないと予感したのは。
いろんなことへの取り組みがスロウな日本と自分。
だから、こんなに早く私がま～ゆを使うなど想像していなかった。
思いが状況を壊していくのか、状況が思いを変えていくのか…、両方だろう。

飛躍2002

今年この人 このグループ

―②―

上小で地域通貨運動に取り組む

蚕都くらぶ まーゆ

「助け合い」もっと気軽に

「地域での人間関係の潤滑油にし、お金では測れない、新しい価値基準をつくりたい」。上田地域もの・こと交換制度「蚕都（さんと）くらぶ まーゆ(繭)」の代表、安井啓子さん(五二)＝上田市上田＝は、こう強調する。特定の地域やグループだけで流通する「お金」（地域通貨）を使う取り組みが、上小地域でも始まった。

昨年十二月に上田市内で開かれたもちつき大会で、「まーゆ」を使う会員の姿があった。「まーゆ」は通貨の単位で「繭」からとった。

「まーゆ」での契約を成立させ、握手する黒田さん（左）と早川さん

右ひじをひねり、力仕事ができずに困っていた同市諏訪形の主婦黒田敏子さん。庭の木の枝払いを同市上塩尻の会社員早川潤さん(四七)に依頼し、「千まーゆ」で契約が成立した。二人はルールに沿って多少照れながら握手した。

「まーゆ」は昨年十一月にスタート。六十四人（十二月中旬現在）が登録している。黒田さんは「なかなか頼めないことでも、まーゆを通じてだと気軽。けがをして、便利だなあと痛感した」と感心する。高齢者の送迎ボランティアにも取り組む早川さんも「送迎を遠慮する人もいるが、この制度が広がれば、福祉面でも大きな利点になるのでは」と期待していた。

会員は自分が提供できるサービスやほしいものなどを会報に掲載。「千まーゆで、一時間話し相手をして」「雪かきを二千まーゆで」などと交渉し、まとまった場合は、お互いの「通帳」に書き込む。実際の通貨と違って利子が付かないため、「使う」ことを促し、地域の活性化や、参加者間の互助意識向上などに役立てる。

安井代表は「もっと使いやすくするために、交流の機会を増やしたい」と意気込む。飛び入り可能の交流会「まーゆ市」は十日午後七時から、上田市中央公民館で開く。問い合わせは安井さん（☎0268・27・3186）へ。

地域を創る ④

「支え合い」交換の単位に

地域通貨 上田の住民グループ「まーゆ」

人のつながり再生

上田市の前田光俊さん(60)方に、中島邦夫さん(56)がやって来た。中島さんは屋根に上がり、約一時間にわたって家のといに詰まった落ち葉を掃除。二人は相談して、この作業の対価を「三百五十まーゆ」と決めた。その分だけ前田さんの通帳から引き落とされ、中島さんの通帳に積み立てられた。中島さんは後日、パソコンの修理を別の人に頼み、「千まーゆ」を支払った。

地域通貨「まーゆ」の「通帳」を手にする安井さん。年月日、お助け相手、お助け内容、受取、支払などを記入し、握手すれば善意の交換は完了だ

「まーゆ」は、円とかドルと同じ通貨の単位。ただ、六十人余りの「まーゆ」会員の間だけでしか通用しない「地域通貨」で、いくらためても利子は付かないし、商品が買える訳でもない。いわば、住民同士の支え合いを媒介する通貨だ。

「『まーゆ』なら目に見える形で感謝の気持ちを表せる。支え合える関係ができるし、ぜひ、作り出したい」。住民グループ「蚕都くらぶ・まーゆ」代表世話人の安井啓子さん(51)はそう語る。

◇　◇

安井さんが「地域通貨」を初めて知ったのは昨年六月。「人間の暮らしの中ではお金では計れないことが実は多いのに何でもお金を物差しにしてきた。実は大事なものを切り捨てて生きてきたんじゃない？」。本を読んで、目を開かれた思いがした。

県外から上田市に転居してきて、子供たちのための演劇鑑賞運動や地域住民の学習活動などに積極的に参加してきた。その体験を通じて、環境や農業、消費者団体など、地域には様々な活動を行っている人が少なくないのに、それぞれが別々でつながりに欠けることが気になっていた。

「地域の人たちが、『まーゆ』をいっぱい交換するようになれば、人と人とのつながりができて、コミュニティー再生のかぎになるのではないか」。そんな思いから、仲間を誘ってグループを設立、昨年十一月に「まーゆ」がスタートした。「まーゆ」はかつて地域の特産だった繭から名を取った。

◇　◇

会員それぞれが「できること」「してほしいこと」を記した一覧表や、公民館で毎月一回開く「まーゆ市」を通じて、「まーゆ」が少しずつ循環し始めた。しかし、その総量はまだまだ少ない。安井さん自身、やり取りは二か月で八回だけ。「貯めることは意味がなく、流通することが重要」（エコマネー・ネットワーク事務局）なのだが、しり込みしてしまうケースが少なくないようだ。

かつて農村社会では「結（ゆい）」と呼ばれる相互扶助の仕組みがあった。廃れていったそんな住民同士の支え合いをもう一度紡ぎ出すことができるのか。「まず一歩を踏み出さないと始まらないよ」。安井さんの元気な声が響く。

（小川　直樹）

【地域通貨】「エコマネー」とも呼ばれる。特定地域や会員間に限定して流通する疑似通貨。欧米では、地域交易交換制度（LETS）として一九八〇年代に急速に広まった。コミュニティーを再生させる手法の一つとして、全国百か所以上で研究や実験が進められている。県内でも他に伊那市や駒ヶ根市などで行われているが、導入後の広がりの面で苦戦している。

上田市の「元気な地域づくり支援事業」に選定されました。

「うえだ」市公報の記事です。

あとがき　　(ホーおじさん記)

ま～ゆ会員は現在83名。正式発足して約 4 ヶ月ですから、ほぼ一ヶ月に 20 名の新会員が生まれているってことです。年齢は20代前半から80代後半まで実にダイナミックな(当然な)構成になっています。

平均年齢はたぶん 40 代から 50 代が一番多いようです。

2 月 10 日に新年会を兼ねてま～ゆ市を開催しました。この日はいつもお世話になっている熱勝さんの広い会場がいっぱいになりました。正確に勘定をしていませんが 40 名は参加されたでしょう。

持ち寄りの料理が次から次と出てくる、珍しいお酒もどんどん(もちろん運転手はいただきません)出てきてありがたい事です。

もちろん飲み食いだけじゃなく、ま～ゆ的話題(なんのこっちゃ)も盛り上がりました。そうそう北欧の歌も登揚しました。

ま～ゆ人は芸達者なんですね。

ま～ゆの会報も協力者がふえて楽しくなってきました。今回はナマケモノさんが大活躍。ひらりんさんもユニークな紹介記事を寄せてくれました。そしてま～ゆお助けに東奔西走するのび太さんは次号にはどんな活躍をしてくれるでしょうか? 楽しみです。

名簿とお助け一覧表はいじこさんのお世話になりました。ありがとうございます。

今回の編集はホーおじさん・都々平・ナマケモノ・ひらりんが主に担当しました。

ま～ゆ会報の常設所

●フリーマーケット「のんどり」…TEL26－9355 （上田原ローソン隣り）

●上田ケーブルビジョン・・・(上田市中央3丁目)

●熱　勝(ねっしょう)…TEL29－3880(上田バイパス秋和一長野県酒販前)

●サンテオーレ・・・TEL25－3482(上田ジャスコ店1階)

●上田市立図書館

●上田市内の公民館・6館(中央、西部、城南、上野ケ丘、塩田、川西)

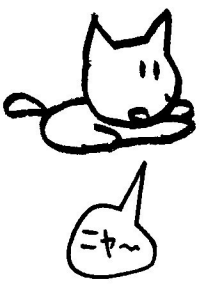
行事のお知らせ

● **4月のまーゆ市**

日時：4月10日〔水〕　よる7時から
会場：上田市中央公民館　第一会議室
連絡：℡27－3186（安井）

5月のまーゆ市は
5月10日(金)
場所：おしらせします
時間：

ま～ゆ世話人会へどうぞ！



まーゆ世話人会は月に一度開催しています。みんなでつくるまーゆだから気楽にご参加ください。不明な点は⇨の世話人にお尋ねください。

代表世話人　安井啓子
世話人　中島邦夫
黒田弘志、
宮沢幸治・田中敏夫
早川潤・家氏しげ子
古田睦美・前田光俊
藤田宏美・平沢洋介